

2013年6月3日

株式会社損害保険ジャパン

日本興亜損害保険株式会社

自動車運転者向けスマートフォン用アプリ（無料）「Safety Sight」の海外展開

株式会社損害保険ジャパン（社長：櫻田謙悟、以下「損保ジャパン」）および日本興亜損害保険株式会社（社長：二宮雅也、以下「日本興亜損保」）は、日本国内で提供している自動車運転者向けスマートフォン用アプリ「Safety Sight」の海外展開を開始します。

まずは、タイ現地法人である損保ジャパン日本興亜タイランド（社長：川内雄次）を通じて、タイの自動車運転者向けに、タイ語での本アプリの提供を開始します。

1. 開発の背景

損保ジャパンおよび日本興亜損保は、安全運転支援を目的としたスマートフォン用アプリ「Safety Sight」の提供を、日本国内で、2012年8月から開始しており、同様に、海外の自動車運転者向けにもアプリの開発を検討してきました。

タイは、自動車保有台数が年々増加しており、リテール保険資源の中心となる自動車保険顧客数も成長が見込めるため、損保ジャパンおよび日本興亜損保は海外リテール事業の基盤整備地域のひとつと位置づけ、収益拡大を目指しています。

損保ジャパンおよび日本興亜損保はタイでスマートフォンの普及が急速に拡大していることに注目し、事故防止対策に関するお客さまニーズに応える手軽なツールとして、本サービスを無料で提供開始するものです。

2. スマートフォン用アプリの概要

（1）名称

「Safety Sight（セーフティサイト）」

（2）提供開始日

2013年6月3日

(3) アプリの機能

名称	概要
・前方車両接近アラート ・前方車両発進お知らせ	運転中の前方映像の解析（形状、大きさ等）により、スマートフォンが前方車両との車間距離を認識し、前方車両の接近時や発進時に音でお知らせします。
安全運転診断（※1）	運転中にスマートフォンが感知した揺れや位置情報、前方映像の解析により、速度・急加速・急ブレーキ・車間距離等のデータを検知し、安全運転診断を実施します。
走行履歴（※1）	走行したコースの地図や距離、時間、速度、急ブレーキ地点などの履歴を確認できます。
ドライブレコーダー（※1）	運転中にスマートフォンが急ブレーキや衝突などの衝撃を感知した際に、衝撃の前後数十秒、前方の映像を自動的に録画・保存します。録画後はタイの警察や損保ジャパン日本興亜タイランドの事故受付コールセンターの電話番号が表示されます。 また、任意に録画することも可能です。

（※1）「安全運転診断」「走行履歴」「ドライブレコーダー」は、損保ジャパン日本興亜タイランドの自動車保険のご契約者さまのみ利用可能です。

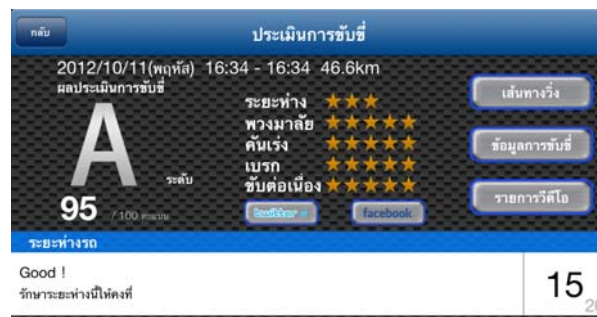
（※2）本アプリは、株式会社カーメイト（社長：村田隆昭、URL <http://www.carmate.co.jp/>）の技術協力により開発しました。

(4) 画面イメージ

<前方車両接近アラート>



<安全運転診断>



3. 今後の展開

損保ジャパンおよび日本興亜損保は、今後も本アプリを他のアジアや、南米の各国で展開していくことを検討しています。今後も安心・満足につながる高品質な商品やサービスの提供を通じて、国内外でお客さまから選ばれる保険会社を目指します。

以上